

## クリーンアップ作戦を実施



↑協力してゴミを回収している様子

7月5日(日)、町内の3河川(北迫川・浅見川・折木川)の河口付近で、河川愛護団体の協力を得て、クリーンアップ作戦を実施しました。町民や企業、消防団、町職員など約300人が河川敷に投棄された空き缶、ペットボトル、紙屑、廃材などを一つ一つ丁寧にゴミ拾いを行いました。また、同日はクリーンアップ作戦の指定箇所以外でも、町内各所で環境美化活動が行われました。

## いわきFCHS Jヴィレッジに決定



↑来庁したいわきFC大倉社長(左)

7月9日(木)、いわきFCの大倉智社長が広野町役場を訪れました。いわきFCは「Jリーグ百年構想クラブ」に認定され、ホームタウンに双葉郡を加え「復興から成長へ」に向けて、より広域的な地域の連携と発展を目指しています。大倉社長は、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れていたリーグ開幕戦が18日にHS(ホームスタジアム)であるJヴィレッジで行われることから「一戦必勝の気持ちで臨む。広野町のスタジアムで貢献できることにしっかり取り組みたい」と意気込みを語りました。

## 医薬品開発に関わる連携・協力に関する協定締結



↑協定書を持つ鍵センター長(左)

6月25日(木)、国立大学法人東京大学と広野町との医薬品開発に関わる連携・協力に関する協定を締結しました。同協定により、同大学は当町に拠点を置き、放射線を使ってがんや新型コロナウイルスなどの感染症の治療薬開発に向けた研究に取り組みます。同センターは放射線のうちアルファ線を出す核種を活用し、医薬品の開発に必要な基礎研究を独自に進めており、環境が整い次第、町内での研究に着手する予定です。

## 国民健康保険浜通り地区部会表彰の伝達



↑表彰された米山会長(左)

7月3日(金)、国民健康保険浜通り地区部会より広野町国民健康保険事業運営協議会の米山正彦会長に表彰状および記念品を伝達しました。米山会長は、市町村国保運営協議会委員を満8年務め、震災により避難生活で健康状態が不安定となった国保被保険者の健康維持増進や一人あたりの医療費が高い当町の課題に積極的に取り組み、本町国保の運営に多大な貢献をいただいています。

## 広野町・議会で合同要望を実施

7月21日(火)、復興庁を訪問し、田中和徳復興大臣に要望書を提出しました。25項目の要望事項について、町民の皆さまの生活再建や町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。

同日、経済産業省を訪問し、松本洋平経済産業副大臣に要望書を提出しました。要望事項として、①イノベーション・コースト構想の推進、②大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の継続、③放射性トリチウム水の処分を巡る問題、④東町地区産業団地(仮称)の整備等についてなど、町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。

同日、環境省を訪問し、小泉進次郎環境大臣に要望書を提出しました。要望事項として、①放射線健康対策、②追加的除染等についてなど、町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。

同日、自民党本部を訪問し、額賀福志郎本部長に要望書を提出しました。25項目の要望事項についてなど、町民の皆さまの生活再建や町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。

### 25項目の要望事項

- ①復興推進体制の継続、②保険税(料)及び医療費の一部負担金等の免除に対する財政支援、③高速道路無料措置の継続、④医療、介護・福祉体制の充実、⑤新型コロナウイルス感染症対策、⑥新型コロナウイルス感染症の影響に関する学校支援、⑦イノベーション・コースト構想の推進、⑧大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の継続、⑨廃炉・除染従事者等との共生、⑩放射線トリチウム水の処分を巡る問題、⑪放射線健康対策、⑫追加的除染等、⑬ふくしま森林再生事業、⑭ほ場整備事業の財源確保、⑮米の全量全袋調査の継続、⑯新規就農者の確保、⑰農業用ため池の放射性物質対策の拡充、⑱農産物風評払拭への支援、⑲JR広野駅周辺整備、⑳東町地区産業団地(仮称)の整備等、㉑「防災拠点・道の駅ひろの」の整備への助言、支援、㉒通学の安心安全に関する支援、㉓小・中学校教諭の復興推進加配の継続、㉔スクールバスの運行支援の継続、㉕被災児童生徒就学支援等事業交付金事業の継続



↑田中和徳復興大臣に要望書を提出

## 双葉地方町村会・町村議会議長会で合同要望を実施

6月29日(月)、30日(火)、復興庁、自由民主党東日本大震災復興加速化本部、経済産業省、環境省、国土交通省、文部科学省、総務省、農林水産省に対し要望活動を行い、21項目の要望事項について、双葉地方の復興が成し遂げられるまでの対応を強く訴えました。

7月15日(水)、東北地方整備局長に対し要望活動を行いました。要望事項として、①避難地域の復興の実現、②双葉地方の復興に向けた道路の復旧・整備、③高速道路無料化措置の延長について、双葉地方の復興・再生が成し遂げられるよう強く要望しました。

7月15日(水)、東日本高速道路株式会社東北支社長に対し要望活動を行いました。要望事項として、①常磐自動車道の早期4車線化、②高速道路無料措置の延長、③常磐自動車道いわきJCT付近へのガソリンスタンド設置について、双葉地方の復興・再生が成し遂げられるよう強く要望しました。

7月16日(木)、福島県知事、県議長、県教育長に対し要望活動を行い、21項目の要望事項について、双葉地方の復興が成し遂げられるまでの対応を強く訴えました。



↑田中和徳復興大臣に要望書を提出

広野町ホームページで  
情報をいち早くお伝えします!

広野町からの「お知らせ」や「情報」、「まちの話題」、「イベント」などをいち早くお伝えしています。ぜひご確認ください。

「広野町」  
を検索



ひろのどこでもe-Booksをご存知ですか?

広野町が発行している「広報ひろの」や「広野町ガイドブック」、「議会だより」、「東日本大震災の記録」などをパソコンやタブレット端末で見ることができます。

「ひろのどこでも  
e-Books」を検索

